

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公表番号】特表2007-519631(P2007-519631A)

【公表日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-027

【出願番号】特願2006-547015(P2006-547015)

【国際特許分類】

C 0 7 D 209/08	(2006.01)
C 0 7 D 209/12	(2006.01)
C 0 7 D 209/42	(2006.01)
C 0 7 D 231/56	(2006.01)
C 0 7 D 401/04	(2006.01)
C 0 7 D 401/14	(2006.01)
C 0 7 D 403/12	(2006.01)
C 0 7 D 405/12	(2006.01)
C 0 7 D 405/14	(2006.01)
C 0 7 D 409/04	(2006.01)
C 0 7 D 471/04	(2006.01)
C 0 7 D 405/06	(2006.01)
C 0 7 D 491/107	(2006.01)
C 0 7 D 471/10	(2006.01)
C 0 7 D 417/04	(2006.01)
C 0 7 D 405/04	(2006.01)
A 6 1 K 31/404	(2006.01)
A 6 1 K 31/427	(2006.01)
A 6 1 K 31/407	(2006.01)
A 6 1 K 31/416	(2006.01)
A 6 1 K 31/437	(2006.01)
A 6 1 K 31/438	(2006.01)
A 6 1 K 31/454	(2006.01)
A 6 1 K 31/4545	(2006.01)
A 6 1 K 31/496	(2006.01)
A 6 1 K 31/5377	(2006.01)
A 6 1 K 31/497	(2006.01)
A 6 1 K 31/501	(2006.01)
A 6 1 K 31/506	(2006.01)
A 6 1 P 1/14	(2006.01)
A 6 1 P 3/04	(2006.01)
A 6 1 P 25/06	(2006.01)
A 6 1 P 25/08	(2006.01)
A 6 1 P 25/16	(2006.01)
A 6 1 P 25/18	(2006.01)
A 6 1 P 25/22	(2006.01)
A 6 1 P 25/24	(2006.01)
A 6 1 P 25/28	(2006.01)
A 6 1 P 43/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 209/08 C S P

C 0 7 D 209/12  
C 0 7 D 209/42  
C 0 7 D 231/56 A  
C 0 7 D 231/56 B  
C 0 7 D 401/04  
C 0 7 D 401/14  
C 0 7 D 403/12  
C 0 7 D 405/12  
C 0 7 D 405/14  
C 0 7 D 409/04  
C 0 7 D 471/04 1 0 4 Z  
C 0 7 D 405/06  
C 0 7 D 491/107  
C 0 7 D 471/10 1 0 1  
C 0 7 D 417/04  
C 0 7 D 405/04  
A 6 1 K 31/404  
A 6 1 K 31/427  
A 6 1 K 31/407  
A 6 1 K 31/416  
A 6 1 K 31/437  
A 6 1 K 31/438  
A 6 1 K 31/454  
A 6 1 K 31/4545  
A 6 1 K 31/496  
A 6 1 K 31/5377  
A 6 1 K 31/497  
A 6 1 K 31/501  
A 6 1 K 31/506  
A 6 1 P 1/14  
A 6 1 P 3/04  
A 6 1 P 25/06  
A 6 1 P 25/08  
A 6 1 P 25/16  
A 6 1 P 25/18  
A 6 1 P 25/22  
A 6 1 P 25/24  
A 6 1 P 25/28  
A 6 1 P 43/00 1 1 1

**【手続補正書】**

【提出日】平成19年12月4日(2007.12.4)

**【手続補正1】**

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

**【補正の内容】**

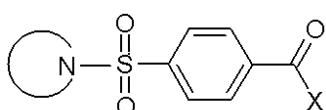
【特許請求の範囲】

**【請求項1】**

式Iの化合物、またはその全ての塩、溶媒和物、光学異性体もしくは幾何異性体、また

### は結晶形：

【化 1】

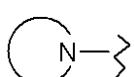


式 I

[式中、

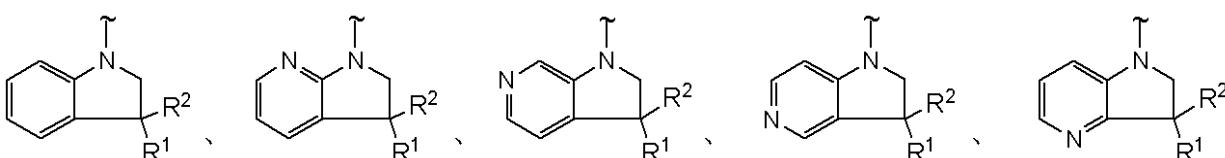
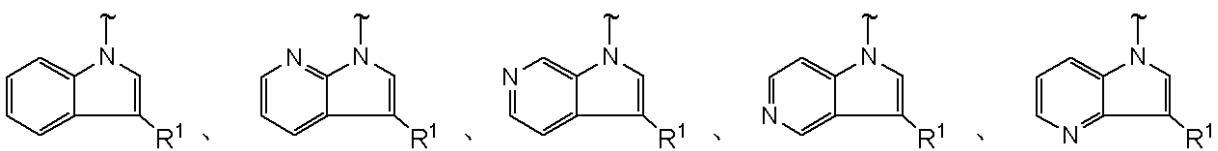
式：

【化 2】



で示される基は、以下からなる群より選択される 6, 5 - 二環式環であり：

【化 3】



および

R<sup>1</sup> は、以下からなる群より選択され：

( a ) 水素、

(b) 任意に、ヘテロシクリルで置換されたアルキルカルボニル、

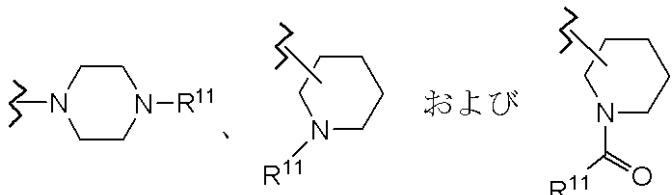
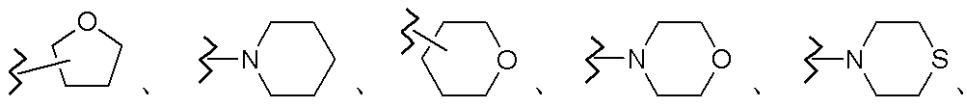
(c) アルキルまたはアセチルで任意に置換されたヘテロシクリルカルボニル、

( d ) アルキルまたはハロアルキル、

(e) 独立してアルキル、ハロ、オキソ、ヒドロキシ、アルコキシ、アミノ、アルキルアミノ、およびジアルキルアミノからなる群より選択される1つまたは2つの置換基で、任意に置換されたシクロアルキル、

( f ) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリル：

【化 4 】

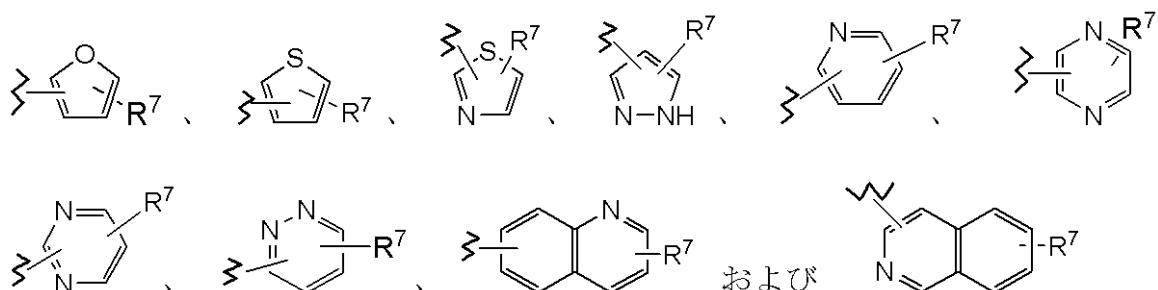


(g) 任意に、八口、アルキル、アルコキシ、シアノ、アミノ、アルキルアミノ、また

はジアルキルアミノで置換されたアリール、並びに

( h ) 以下からなる群より選択されるヘテロアリール：

【化 5】



$R^2$  は、水素、アルキル、ヘテロシクリルであるか、または  $R^1$  およびこれらが付着される炭素と共に、以下からなる群より選択される飽和した環置換基を形成し：

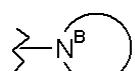
(a) シクロアルキル、並びに、

( b ) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリル：

テトラヒドロフラニル、テトラヒドロピラニル、および任意にアルキル、アセチル、またはアリールでN置換されたピペリジニル、

X は、  $-NR^{13}R^3$  または式：

### 【化 6】



で示される基であり

B<sup>3</sup>は、以下からなる群より選択され、

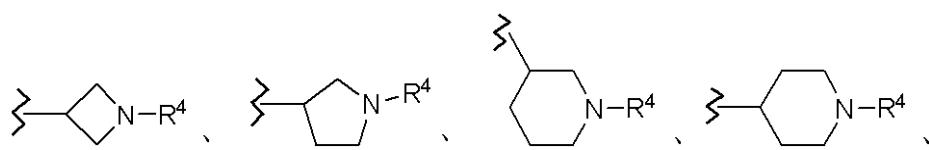
( a ) 水素

(b) 任意に、独立してヒドロキシ、アルコキシ、ハロゲン、アミノ、アルキルアミノおよびジアルキルアミノからなる群より選択される1つまたは2つの置換基で、置換されたアルキル。

(c) 任意に、独立してヒドロキシ、アルコキシ、ハロ、アミノ、アルキルアミノおよびジアルキルアミノからなる群より選択される1つまたは2つの置換基で置換されたシクロアルキル。

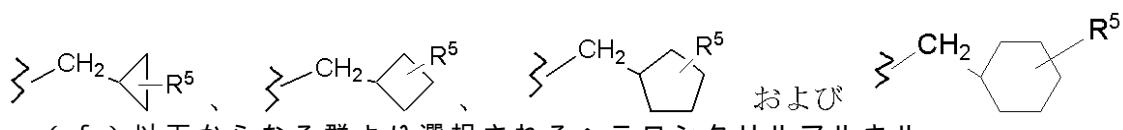
(d) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリル：

【化 7】



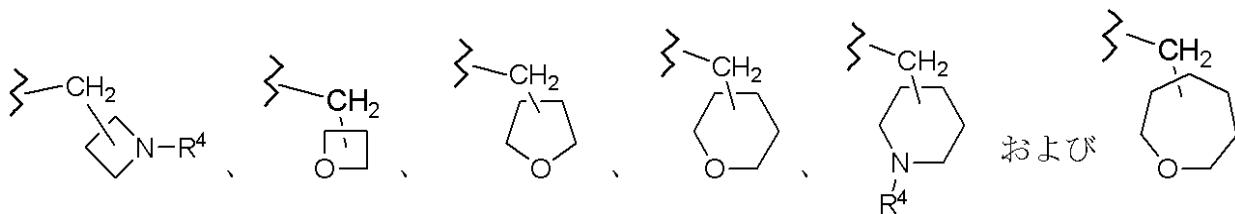
( e ) 以下からなる群より選択されるシクロアルキルアルキル：

【化 8】



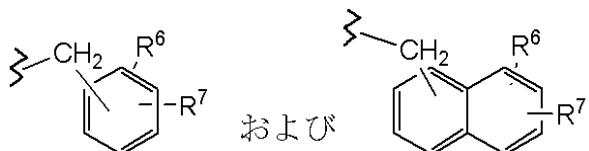
( f ) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリルアルキル：

【化9】



(g) 以下の式:

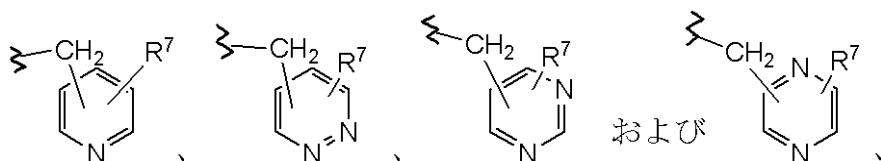
【化10】



からなる群より選択されるアリールアルキル、並びに、

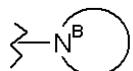
(h) 以下からなる群より選択されるヘテロアリールアルキル:

【化11】



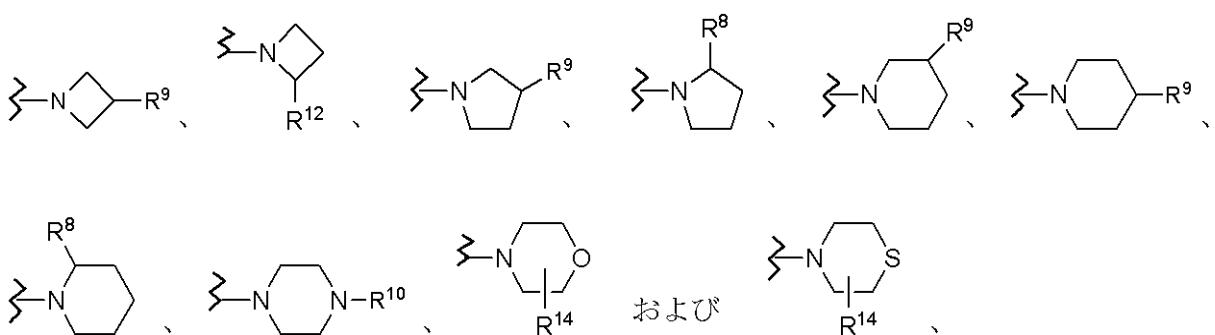
式:

【化12】



で示される基は、以下からなる群より選択される複素環式環であり:

【化13】



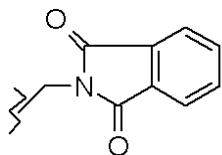
R<sup>4</sup>は、水素、フェニル、ハロフェニル、アシルまたはアルコキシカルボニルであり、  
R<sup>5</sup>は、水素、ヒドロキシまたはアルコキシであり、

R<sup>6</sup>およびR<sup>7</sup>のそれぞれは、独立して水素、ハロ、シアノ、アルキル、アルコキシ、ハロアルキル、ハロアルコキシ、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルコキシカルボニル、ジアルキルアミノカルボニル、アリール、およびアリールオキシから選択され、

R<sup>8</sup>は、水素、ヒドロキシアルキル、アシル、オキソ、アリール、ピリジニル、アルキル-SO<sub>2</sub>-O-、R<sup>b</sup>-NH-CH<sub>2</sub>-、アリールアルキル、またはR<sup>c</sup><sub>2</sub>N-CO-O-であり、

R<sup>9</sup>は、水素、ヒドロキシ、ヒドロキシアルキル、アシル、ハロ、ジハロ、オキソ、アリール、ハロアリール-CH<sub>2</sub>-、ピリジニル、アルキル-SO<sub>2</sub>-O-、R<sup>a</sup>-NH-、R<sup>b</sup>-NH-CH<sub>2</sub>-、アリールアルキル、式:

## 【化14】



で示される基、または  $R^c_2N-CO-O-$  であり、

$R^{10}$  は、水素、アルキル、アルコキシカルボニル、アリール、またはハロアリールであり、

$R^{11}$  は、水素、アルキルまたはアリールであり、

$R^{12}$  は、水素またはアリールであり、

$R^{13}$  は、水素またはアルキルであり、

$R^{14}$  は、水素、アルキル、アリール、またはアシルであり、

$R^a$  は、水素、アルコキシカルボニル、またはハロフェニルであり、

$R^b$  は、水素、アルコキシ、フェニル、ハロフェニル、ハロフェニルアルキル、ハロピリジニル、ピリミジニル、アルコキシカルボニル、ジアルキルアミノカルボニル、またはジアルキルアミノチオカルボニルであり、並びに

$R^c$  は、水素またはアルキルであり、

ただし、式(I)の化合物は、[4-(2,3-ジヒドロ-インドール-1-スルホニル)-フェニル]-(4-フェニル-ピペラジン-1-イル)-メタノン、

[4-(2,3-ジヒドロ-インドール-1-スルホニル)-フェニル]-モルホリン-4-イル-メタノン、および

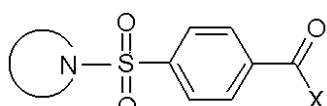
[4-(2,3-ジヒドロ-インドール-1-スルホニル)-フェニル]-ピペリジン-1-イル-メタノン

以外であることを条件とする】。

## 【請求項2】

式Iの化合物、またはその全ての光学異性体もしくは幾何異性体、または結晶形：

## 【化15】

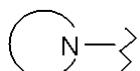


式I

〔式中、

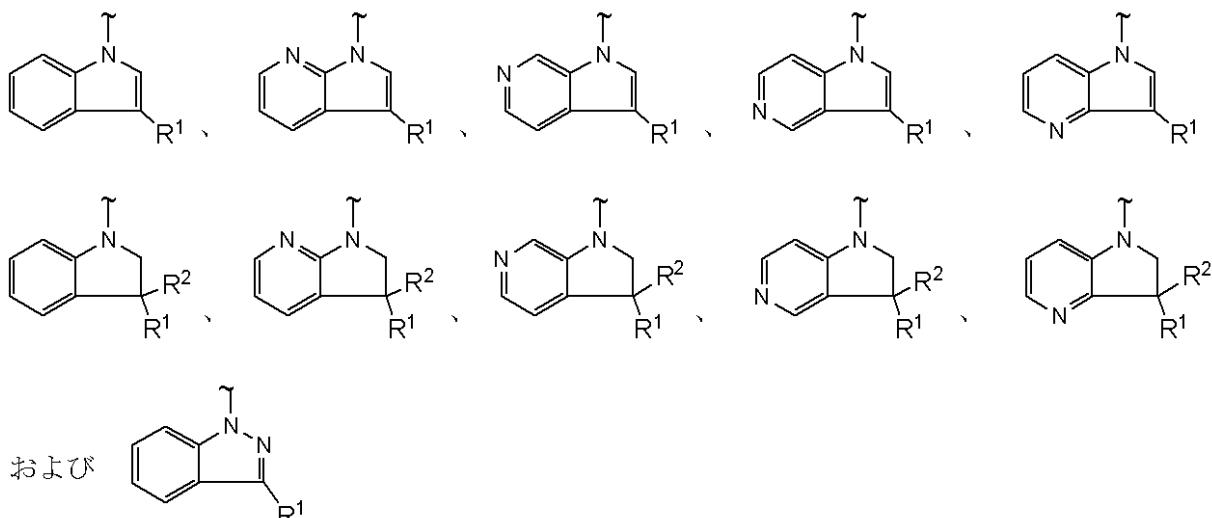
式：

## 【化16】



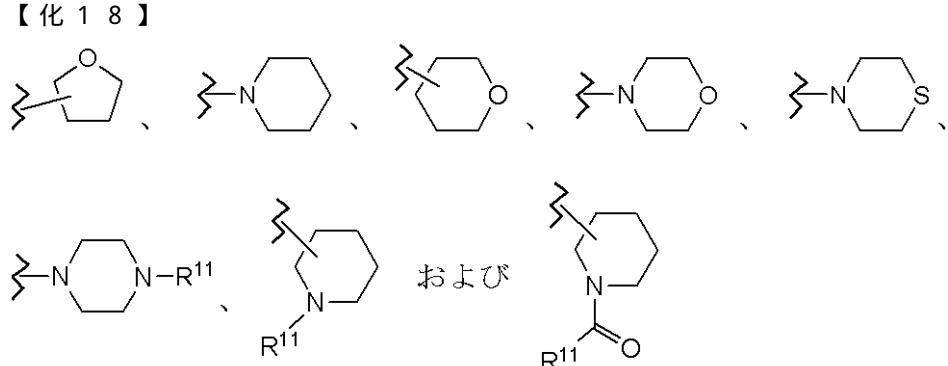
で示される基は、以下からなる群より選択される6,5-二環式環であり：

## 【化17】



- (a) 水素、
- (b) 任意に、ヘテロシクリルで置換されたアルキルカルボニル、
- (c) 任意に、アルキルまたはアセチルで置換されたヘテロシクリルカルボニル、
- (d) アルキルまたはハロアルキル、
- (e) 任意に、独立してアルキル、ハロ、オキソ、ヒドロキシ、アルコキシ、アミノ、アルキルアミノ、およびジアルキルアミノからなる群より選択される1つまたは2つの置換基で置換されたシクロアルキル、
- (f) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリル：

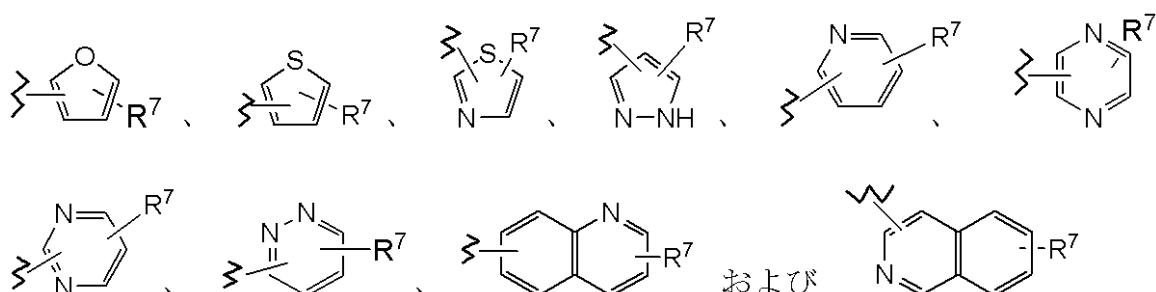
## 【化18】



(g) 任意に、ハロ、アルキル、アルコキシ、シアノ、アミノ、アルキルアミノまたはジアルキルアミノで置換されたアリール、並びに

(h) 以下からなる群より選択されるヘテロアリール：

## 【化19】



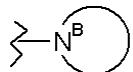
R<sup>2</sup>は、水素、アルキル、ヘテロシクリルであるか、またはR<sup>1</sup>およびこれらが付着される炭素と共に、以下からなる群より選択される飽和した環置換基を形成し：

- (a) シクロアルキル、および
- (b) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリル：

テトラヒドロフラニル、テトラヒドロピラニル、および任意にアルキル、アセチル、またはアリールでN置換されたピペリジニル、

Xは、-NR<sup>13</sup>R<sup>3</sup>または式：

【化20】



で示された基であり、

R<sup>3</sup>は、以下からなる群より選択され：

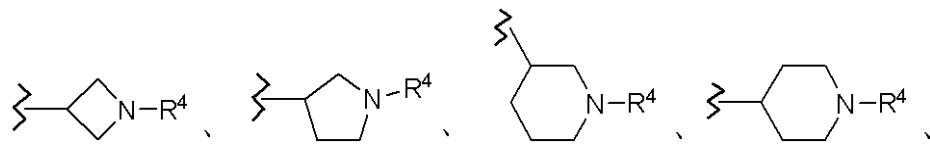
(a) 水素、

(b) 任意に、独立してヒドロキシ、アルコキシ、ハロゲン、アミノ、アルキルアミノおよびジアルキルアミノからなる群より選択される1つまたは2つの置換基で置換されたアルキル、

(c) 任意に、独立してヒドロキシ、アルコキシ、ハロゲン、アミノ、アルキルアミノおよびジアルキルアミノからなる群より選択される1つまたは2つの置換基で置換されたシクロアルキル、

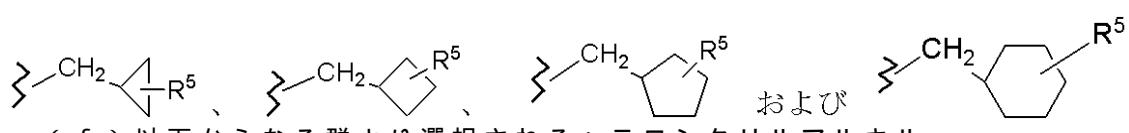
(d) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリル：

【化21】



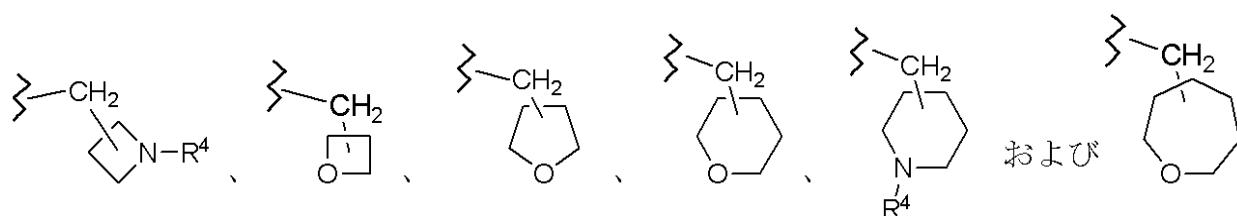
(e) 以下からなる群より選択されるシクロアルキルアルキル：

【化22】



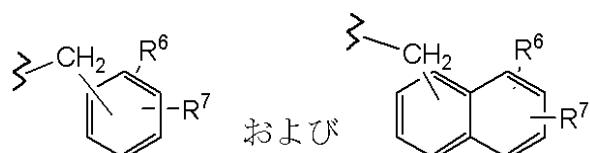
(f) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリルアルキル：

【化23】



(g) 以下の式：

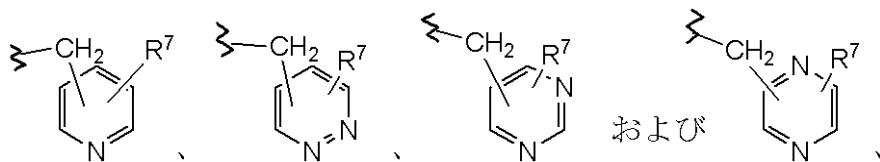
【化24】



で示される基からなる群より選択されるアリールアルキル、並びに、

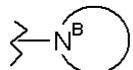
(h) 以下からなる群より選択されるヘテロアリールアルキル：

## 【化25】



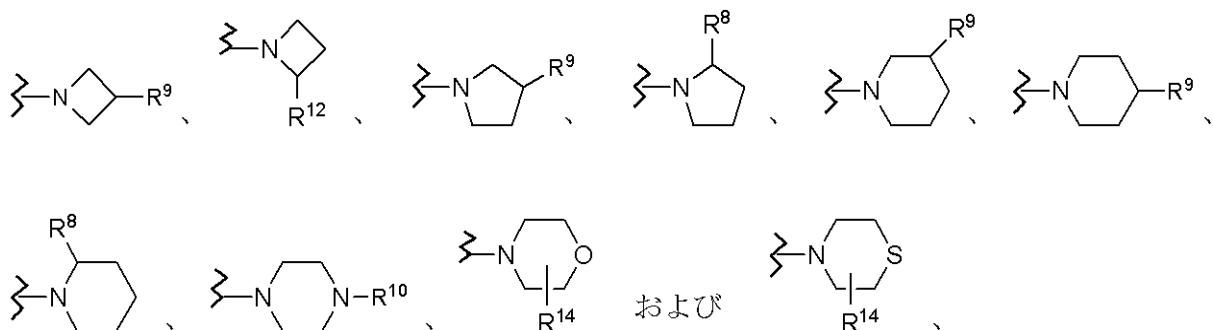
式:

## 【化26】



で示される基は、以下からなる群より選択される複素環式環:

## 【化27】

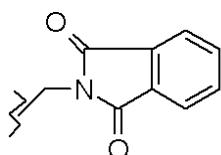
R<sup>4</sup>は、水素、フェニル、ハロフェニル、アシル、またはアルコキシカルボニルであり

、  
R<sup>5</sup>は、水素、ヒドロキシ、またはアルコキシであり、  
R<sup>6</sup>およびR<sup>7</sup>のそれぞれは、独立して水素、ハロ、シアノ、アルキル、アルコキシ、ハロアルキル、ハロアルコキシ、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルコキシカルボニル、ジアルキルアミノカルボニル、アリール、およびアリールオキシから選択され、

R<sup>8</sup>は、水素、ヒドロキシアルキル、アシル、オキソ、アリール、ピリジニル、アルキル-SO<sub>2</sub>-O-、R<sup>b</sup>-NH-CH<sub>2</sub>-、アリールアルキル、またはR<sup>c</sup>N-CO-O-であり、

R<sup>9</sup>は、水素、ヒドロキシ、ヒドロキシアルキル、アシル、ハロ、ジハロ、オキソ、アリール、ハロアリール-CH<sub>2</sub>-、ピリジニル、アルキル-SO<sub>2</sub>-O-、R<sup>a</sup>-NH-、R<sup>b</sup>-NH-CH<sub>2</sub>-、アリールアルキル、式:

## 【化28】

で示される基、またはR<sup>c</sup>N-CO-O-であり、

R<sup>10</sup>は、水素、アルキル、アルコキシカルボニル、アリール、またはハロアリールであり、

R<sup>11</sup>は、水素、アルキル、またはアリールであり、R<sup>12</sup>は、水素またはアリールであり、R<sup>13</sup>は、水素またはアルキルであり、R<sup>14</sup>は、水素、アルキル、アリール、またはアシルであり、R<sup>a</sup>は、水素、アルコキシカルボニル、またはハロフェニルであり、R<sup>b</sup>は、水素、アルコキシ、フェニル、ハロフェニル、ハロフェニルアルキル、ハロピ

リジニル、ピリミジニル、アルコキカルボニル、ジアルキルアミノカルボニル、またはジアルキルアミノチオカルボニルであり、並びに

$R^{\circ}$  は、水素またはアルキルであり、

ただし、式(Ⅰ)の化合物は、[4-(2,3-ジヒドロ-インドール-1-スルホニル)-フェニル]- (4-フェニル-ピペラジン-1-イル)-メタノン、

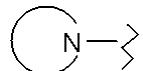
[ 4 - ( 2 , 3 - ジヒドロ - インドール - 1 - スルホニル ) - フェニル ] - モルホリン - 4 - イル - メタノン、および、

[ 4 - ( 2 , 3 - ジヒドロ - インドール - 1 - スルホニル ) - フェニル ] - ピペリジン - 1 - イル - メタノン以外であることを条件とする ]。

### 【請求項3】

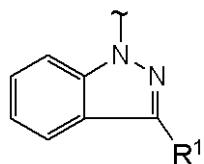
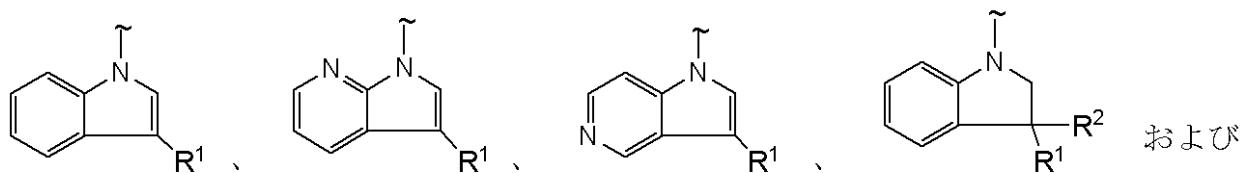
式：

【化 2 9】



で示される基が、以下からなる群より選択される 6, 5 - 二環式環であり：

【化 3 0 】



R<sup>1</sup> が、以下からなる群より選択され：

( a ) 水素、

(b) ヘテロシクリルで任意に置換されたアルキルカルボニル、

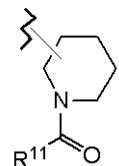
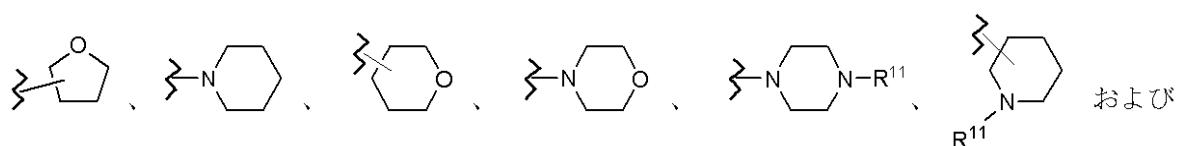
(c) アルキルまたはアセチルで任意に置換されたヘテロシクリルカルボニル、

(d) メチル、プロピル、*t*-ブチル、またはトリフルオロメチル、

(e) オキソ、ヒドロキシ、メトキシ、ジフルオロまたはメチルで任意に置換されたシリカルキル、

( f ) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリル：

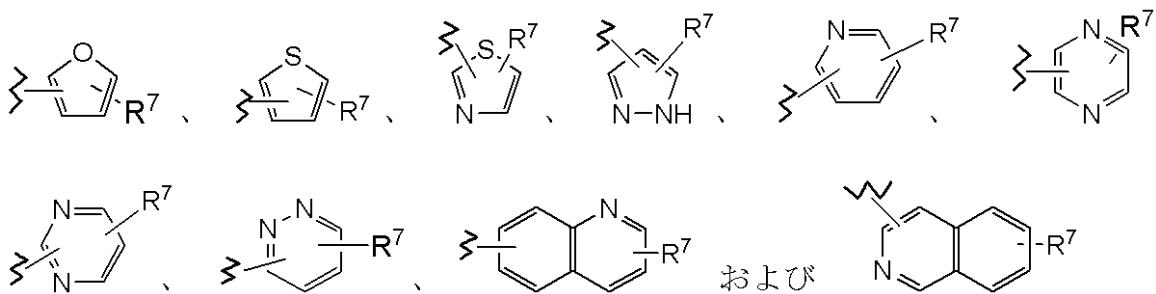
【化 3.1】



(g) ハロ、メチル、メトキシ、シアノまたはジメチルアミノで任意に置換されたフェニル、並びに

( h ) 以下からなる群より選択されるヘテロアリール：

## 【化32】



R<sup>2</sup>が、水素、メチル、エチルであるか、またはR<sup>1</sup>およびこれらが付着される炭素と共に、以下からなる群より選択される飽和した環置換基を形成し：

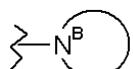
(a) シクロアルキル、並びに

(b) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリル：

テトラヒドロピラニル、およびN-メチルピペリジン-4-イル、

Xが、-NR<sup>13</sup>R<sup>3</sup>または式：

## 【化33】



で示される基であり、

R<sup>3</sup>が、以下からなる群より選択され：

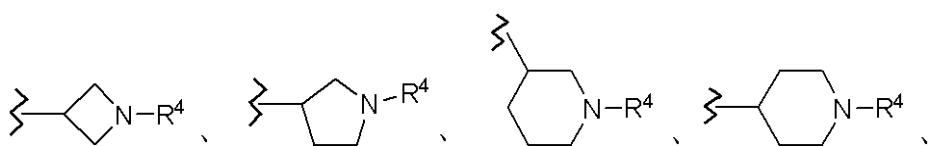
(a) 水素、

(b) 任意に、(C<sub>1</sub>-C<sub>2</sub>)アルコキシで置換された(C<sub>1</sub>-C<sub>2</sub>)アルキル、

(c) 任意に、独立してヒドロキシ、メトキシ、アミノ、アルキルアミノ、およびジアルキルアミノから選択される1つまたは2つの置換基で置換された(C<sub>4</sub>-C<sub>6</sub>)シクロアルキル、

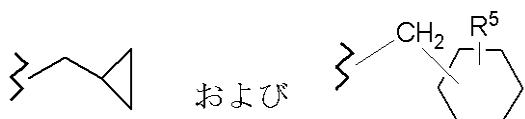
(d) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリル：

## 【化34】



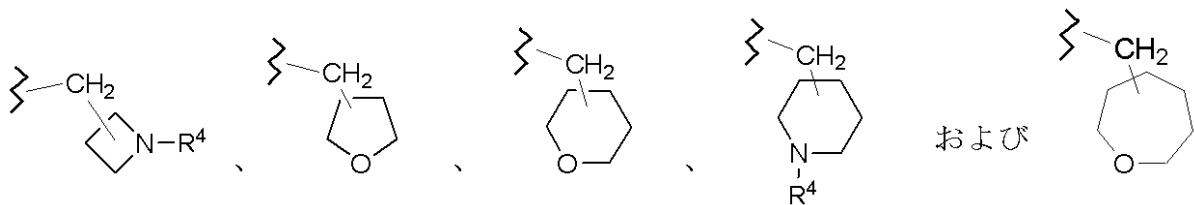
(e) 以下からなる群より選択されるシクロアルキルアルキル：

## 【化35】



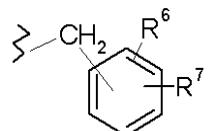
(f) 以下からなる群より選択されるヘテロシクリルアルキル：

【化36】



(g) 以下の式:

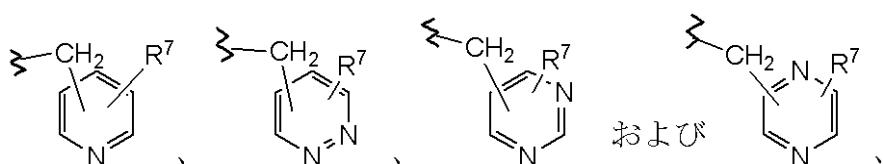
【化37】



で示される基であるアリールアルキル、並びに

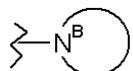
(h) 以下からなる群より選択されるヘテロアリールアルキル:

【化38】



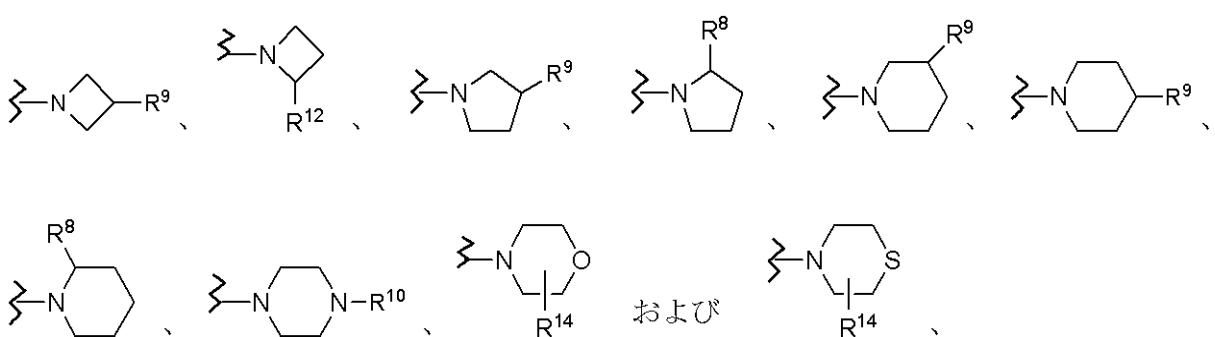
式:

【化39】

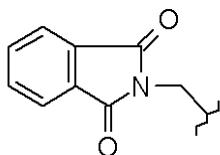


で示される基が、以下からなる群より選択される複素環式環であり:

【化40】

R<sup>4</sup>が、水素、フェニル、フルオロフェニル、t-ブチルオキシカルボニル、またはメトキシカルボニルであり、R<sup>5</sup>が、水素、ヒドロキシ、またはメトキシであり、R<sup>6</sup>およびR<sup>7</sup>のそれぞれが、独立して水素、アルキル、フルオロ、クロロ、トリフルオロメチル、シアノ、メトキシ、アミノ、モノメチルアミノ、ジメチルアミノ、メトキシカルボニルおよびジメチルアミノカルボニルからなる群より選択され、R<sup>8</sup>が、水素、ヒドロキシアルキル、アシリル、オキソ、アリール、ピリジニル、アルキル-SO<sub>2</sub>-O-、R<sup>b</sup>-NH-CH<sub>2</sub>-、アリールアルキル、または(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>2</sub>N-CO-O-であり、R<sup>9</sup>が、水素、ヒドロキシ、ヒドロキシメチル、アセチル、フルオロ、ジフルオロ、オキソ、フェニル、ベンジル、ピリジニル、C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>-SO<sub>2</sub>-O-、R<sup>a</sup>-NH-、R<sup>b</sup>-NH-CH<sub>2</sub>-、式:

## 【化41】



で示される基、または  $(CH_3)_2N-CO-O-$  であり、

$R^{10}$  が、水素またはアルキルであり、

$R^{11}$  が、水素またはアルキルであり、

$R^{12}$  が、水素またはフェニルであり、

$R^{13}$  が、水素またはメチルであり、

$R^{14}$  が、水素、メチル、フェニル、またはアセチルであり、

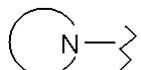
$R^a$  が、水素、メトキシカルボニル、 $t$ -ブチルオキシカルボニル、またはフルオロフェニルであり、並びに

$R^b$  が、水素、メトキシ、フェニル、フェニルアルキル、フルオロフェニルアルキル、フルオロフェニル、ピリジニル、フルオロピリジニル、ピリミジニル、メトキシカルボニル、 $t$ -ブチルオキシカルボニル、ジメチルアミノカルボニル、またはジメチルアミノチオカルボニルである、請求項1または2記載の化合物。

## 【請求項4】

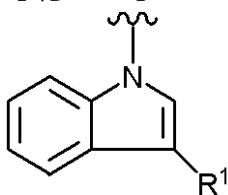
式：

## 【化42】



で示される基が式：

## 【化43】



で示される基である、請求項1、2または3記載の化合物。

## 【請求項5】

$R^1$  が、任意に、ハロ、アルキル、アルコキシ、シアノ、アミノ、アルキルアミノ、またはジアルキルアミノで置換されたアリールである、請求項4記載の化合物。

## 【請求項6】

$R^1$  が、フェニルである、請求項5記載の化合物。

## 【請求項7】

$R^1$  が、任意に、独立してアルキル、ハロ、オキソ、ヒドロキシ、アルコキシ、アミノ、アルキルアミノ、およびジアルキルアミノからなる群より選択される1つまたは2つの置換基で置換されたシクロアルキルである、請求項4記載の化合物。

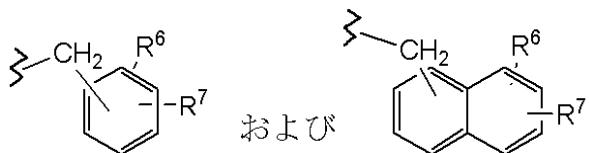
## 【請求項8】

$R^1$  が、シクロペンチルである、請求項7記載の化合物。

## 【請求項9】

$R^3$  が、以下：

## 【化44】

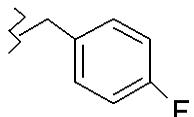


からなる群より選択されるアリールアルキルである、請求項1～8のいずれか記載の化合物。

## 【請求項10】

R<sup>3</sup>が、式：

## 【化45】



で示される基である、請求項9記載の化合物。

## 【請求項11】

化合物が、

N-(4-フルオロ-ベンジル)-4-(3-フェニル-インドール-1-スルホニル)-ベンズアミド、

N-(5-フルオロ-ピリジン-3-イルメチル)-4-(3-フェニル-インドール-1-スルホニル)-ベンズアミド、

4-(3-フェニル-インドール-1-スルホニル)-N-(テトラヒドロ-ピラン-4-イルメチル)-ベンズアミド、

4-(3-シクロペンチル-インドール-1-スルホニル)-N-(4-フルオロ-ベンジル)ベンズアミド、

N-(4-フルオロ-ベンジル)-4-[3-(テトラヒドロ-ピラン-4-イル)-インドール-1-スルホニル]-ベンズアミド、

N-シクロプロピルメチル-4-(3-フェニル-インドール-1-スルホニル)-ベンズアミド、

4-(3-シクロペンチル-インドール-1-スルホニル)-N-(テトラヒドロ-ピラン-4-イル)-ベンズアミド、または

4-(3-シクロペンチル-インドール-1-スルホニル)-N-(テトラヒドロ-ピラン-4-イルメチル)-ベンズアミド

である、請求項1～10のいずれか1項記載の化合物。

## 【請求項12】

化合物が4-(3-シクロペンチル-インドール-1-スルホニル)-N-(4-フルオロ-ベンジル)-ベンズアミドである、請求項1～11のいずれか1項記載の化合物。

## 【請求項13】

化合物がN-(4-フルオロ-ベンジル)-4-(3-フェニル-インドール-1-スルホニル)-ベンズアミドである、請求項1～11のいずれか1項記載の化合物。

## 【請求項14】

C<sub>B</sub>-1受容体刺激を拮抗するため有効な量の請求項1～13のいずれか1項記載の化合物と、薬学的に許容されるキャリア、希釈剤、または賦形剤とを含む、薬学的組成物。

## 【請求項15】

請求項1～13のいずれか1項記載の化合物と、薬学的に許容されるキャリア、希釈剤、または賦形剤とを含む、薬学的組成物。

## 【請求項16】

C<sub>B</sub>-1受容体刺激を減少させることによって治療可能である症状の治療剤であって、

請求項1\_4または1\_5のいずれか1項記載の組成物を含有する、治療剤。

【請求項17】

症状が肥満症または過剰の摂食と関連する摂食障害である、請求項1\_6記載の治療剤。

【請求項18】

症状が肥満症である、請求項1\_7記載の治療剤。

【請求項19】

治療に使用するための、式(I)の化合物：4-(3-シクロペンチル-インドール-1-スルホニル)-N-(4-フルオロ-ベンジル)ベンズアミドまたはN-(4-フルオロ-ベンジル)-4-(3-フェニル-インドール-1-スルホニル)ベンズアミド。

【請求項20】

CB-1受容体刺激を減少させることによって治療可能である症状を治療するための医薬の製造における、式(I)の化合物：4-(3-シクロペンチル-インドール-1-スルホニル)-N-(4-フルオロ-ベンジル)ベンズアミドまたはN-(4-フルオロ-ベンジル)-4-(3-フェニル-インドール-1-スルホニル)ベンズアミドの使用。

【請求項21】

症状が肥満症または過剰の摂食と関連する摂食障害である、請求項2\_0記載の使用。

【請求項22】

症状が肥満症である、請求項2\_1記載の使用。